

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 10 巻第 51 号

第 51 週 (12月20日～ 12月26日)

発行年月日:平成23年(2011年) 1月 6日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

- ◆ 感染性胃腸炎に警報発令!!
- ◆ インフルエンザウイルスA香港型を検出
- ◆ インフルエンザの流行期に突入 (全国)

★一類～五類全数報告感染症の発生状況 (第 51 週)

- ・一 類 感 染 症 ---- 報告はありません
- ・二 類 感 染 症 ---- **結核 2名**
- ・三 類 感 染 症 ---- 報告はありません
- ・四 類 感 染 症 ---- **つつが虫病 1名**
デング熱 1名 (感染地域:インドネシア バリ島、推定感染経路:蚊)
- ・五 類 感 染 症 ---- 報告はありません

※第47週に届出のあった急性脳炎患者1名は、届出基準を満たさなかったため取り下げられました。

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況 (先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週 (993名) より減少し、今週は923名となっています。今週、増加した疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎等で、減少した疾患は、水痘、手足口病、流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) 等です (週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

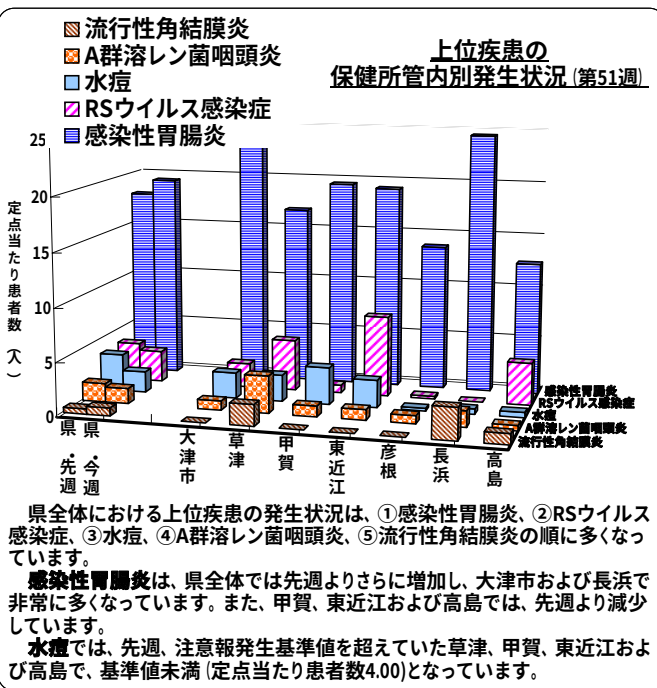
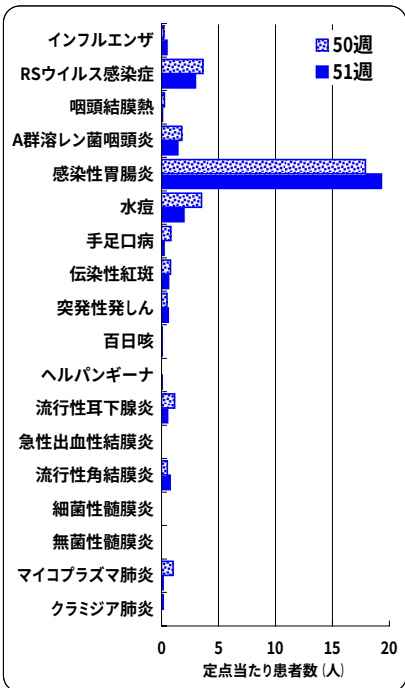
県は、感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる情報提供要領の警報発令基準^(*)に該当したため、平成22年12月28日に、**県内全域に感染性胃腸炎の警報を発令しました** (感染性胃腸炎の発生状況は、(3) 今週の発生状況に示すとおりです)。

(*) : 警報開始基準値を超える全ての保健所管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた時点

インフルエンザウイルスについては、平成22年12月22日に大津市内の医療機関で採取された咽頭ぬぐい液から、**インフルエンザウイルスA香港型** (インフルエンザAH3型) が検出されました。なお、県内における今季のインフルエンザウイルスA香港型の検出は、今回が初めてです。

また、全国では、インフルエンザの定点当たり患者数が流行開始の目安となる基準 (1.00) を上回ったため、インフルエンザの流行期になりました。県内においても、今後、流行する可能性があるので感染予防に対する注意が必要です。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、感染性胃腸炎では、大津市および長浜保健所管内で警報開始基準値 (定点当たり患者数 20.00) を超えています。伝染性紅斑では、甲賀保健所管内で警報終息基準値 (定点当たり患者数 1.00) を超えています。



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②RSウイルス感染症、③水痘、④A群溶レン菌咽頭炎、⑤流行性角結膜炎の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は、県全体では先週よりさらに増加し、大津市および長浜で非常に多くなっています。また、甲賀、東近江および高島では、先週より減少しています。

水痘では、先週、注意報発生基準値を超えていた草津、甲賀、東近江および高島で、基準値未満 (定点当たり患者数 4.00) となっています。

1. 全数報告感染症（一類～五類）の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(※1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 ^(※2) (51週)	全 国 ^(※2) (50週)	滋賀	全 国 ^(※2)	滋賀	全 国 ^(※2)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	242	25,065	256	26,932	282	28,419
三 類 感 染 症	コレラ	0	11	1	16	0	45
	細菌性赤痢	2	227	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	66	4,082	27	3,886	53	4,322
	パラチフス	1	21	0	27	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	60	1	56	0	43
	A型肝炎	3	337	0	115	3	170
	オウム病	1	10	0	21	0	9
	コクシジオイデス症	0	1	0	2	1	2
	つつが虫病	2	350	0	465	0	442
	デング熱	2	239	0	93	2	104
	マラリア	0	73	0	56	1	56
	レジオネラ症	10	701	8	712	10	893
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	7	799	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	3	210	3	220	5	241
	急性脳炎	1	226	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	159	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	120	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	1,434	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	1	78	0	73	1	75
	梅毒	8	588	3	692	5	839
	破傷風	0	99	3	113	5	123
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	115	0	116	0	80
	風しん	5	86	2	148	2	309
	麻疹	1	440	7	739	39	11,015
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ (H1N1) ^(※3)	0	0	138	12,639	- ^(※4)	- ^(※4)

注：51週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

- ※1: 感染症発生動向調査年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月）。
- ※2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。
- ※3: 感染症法の一部改正（平成21年7月24日施行）により届出の対象となった報告数です（届出期間：平成21年7月24日～8月24日）。
- ※4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです（患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）。

(1) 疾病別・週別発生状況（平成22年第46～51週、11/15～ 12/26）

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数（ ↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少）										
			46週	47週	48週	49週	50週	51週	週				
			11/15～	11/22～	11/29～	12/6～	12/20～	12/27～	47	48	49	50	51
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.06	0.06	0.11	0.09	0.21	0.49	→	↑	↓	↑	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	0.66	1.38	1.25	2.91	3.63	2.97	↑	↓	↑	↑	↓
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.16	0.09	0.19	0.16	0.25	0.09	↓	↑	↓	↑	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	1.13	1.06	1.25	1.78	1.44	↑	↓	↑	↑	↓
		感染性胃腸炎	4.81	7.66	12.94	14.59	17.88	19.31	↑	↑	↑	↑	↑
		水痘	1.47	2.63	2.50	2.06	3.50	1.97	↑	↓	↓	↑	↓
		手足口病	0.38	0.31	0.69	0.97	0.81	0.22	↓	↑	↑	↓	↓
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.28	0.47	0.47	0.78	0.78	0.63	↑	→	↑	→	↓
		突発性発しん	0.50	0.72	0.53	0.88	0.47	0.59	↑	↓	↑	↓	↑
		百日咳	0.09	0.03	0.06	0	0.06	0	↓	↑	↓	↑	↓
		ヘルパンギーナ	0.16	0.03	0	0	0	0.06	↓	↓	→	→	↑
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.91	1.28	1.22	0.75	1.16	0.53	↑	↓	↓	↑	↓
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0	0.25	0.25	0.63	0.50	0.75	↑	→	↑	↓	↑
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0	→	↑	↓	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.57	0.29	0.71	0.71	1.00	0.14	↓	↑	→	↑	↓
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0.14	0	→	→	→	↑	↓

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑、流行性角結膜炎
減少傾向……特になし

(2)疾病別・保健所管内別発生状況 (第 51 週、12/20～ 12/26)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.49	0.82	0	1.00	0.13	1.14	0	0.33	
RSウイルス感染症	2.97	2.29	4.83	0.75	7.60	0.25	0	4.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0	0	0	0.20	0.50	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	0.86	3.50	1.00	1.00	0.75	1.50	0.50	
感染性胃腸炎	19.31	23.57	16.83	19.50	19.20	13.75	24.50	12.50	
水痘	1.97	2.43	2.50	3.50	2.60	0.25	0.50	0.50	
手足口病	0.22	0	0.17	0	0.80	0	0.50	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.63	0.14	0	3.00	0.20	1.00	0.50	0	
突発性発しん	0.59	0.43	1.83	0.25	0	0	0.75	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0.20	0	0.25	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.53	0.57	0.33	0.50	0.20	0.75	1.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.75	0	2.00	0	0	0	3.00	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字

は警報発生基準値を超えています。

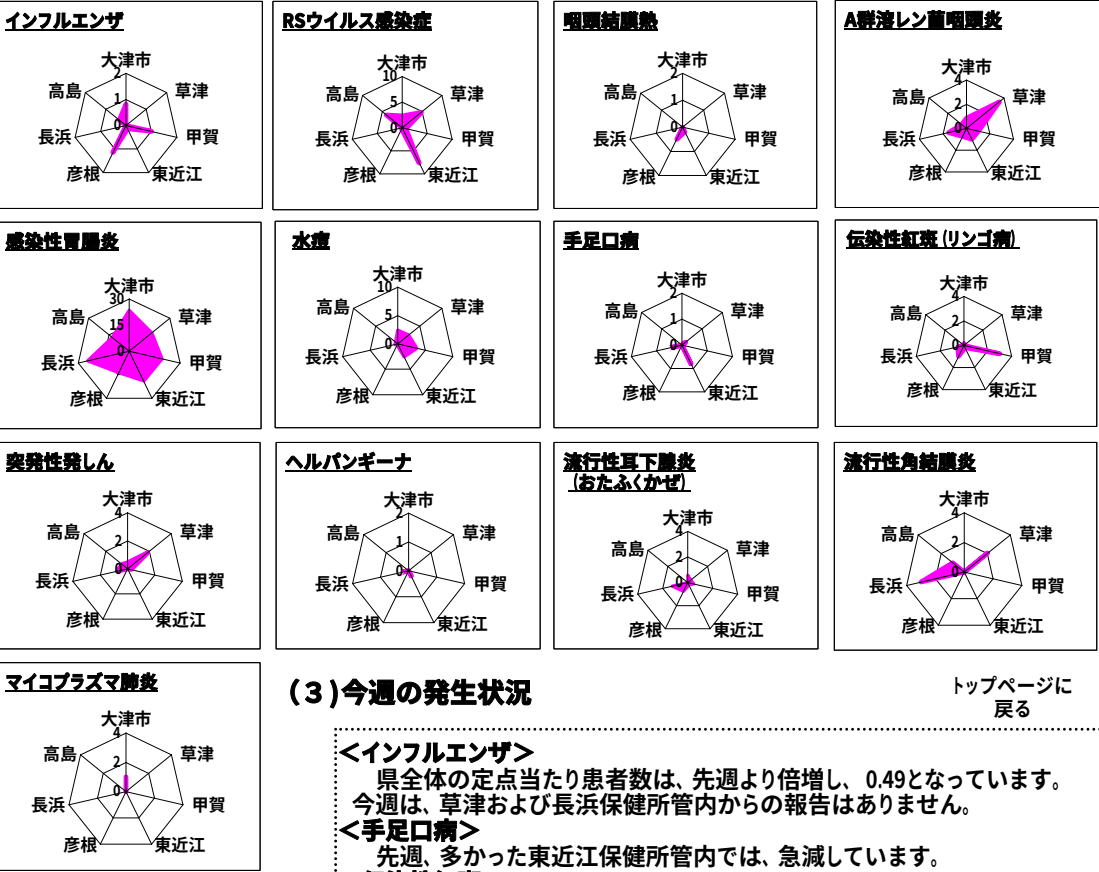
青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

05101520

定点当たり患者数

疾患別・保健所管内別発生状況 (定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

トップページに
戻る

<インフルエンザ>

県全体の定点当たり患者数は、先週より倍増し、0.49となっています。
今週は、草津および長浜保健所管内からの報告はありません。

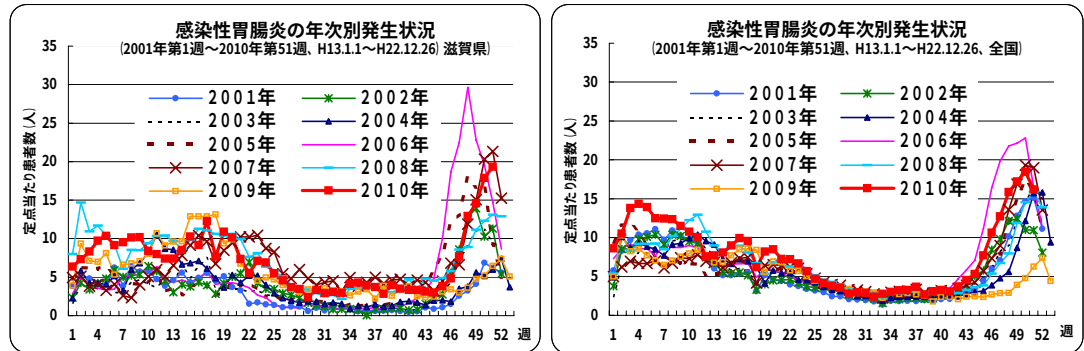
<手足口病>

先週、多かった東近江保健所管内では、急減しています。

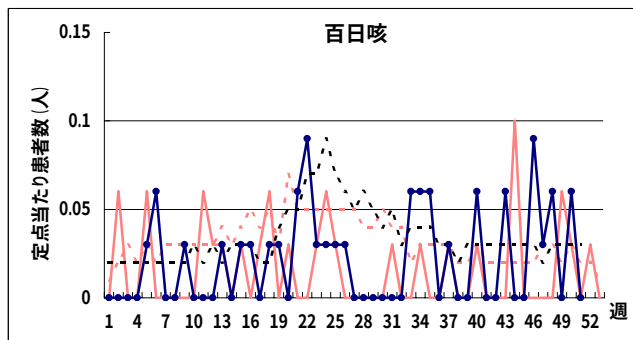
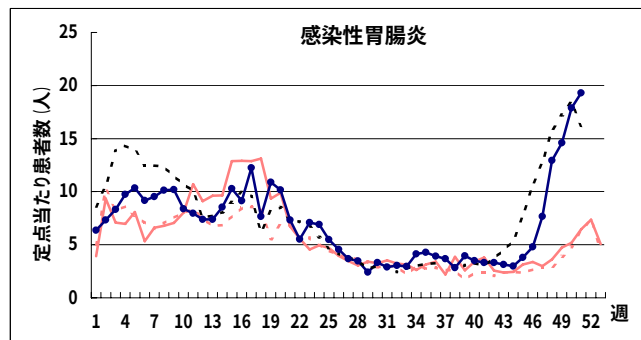
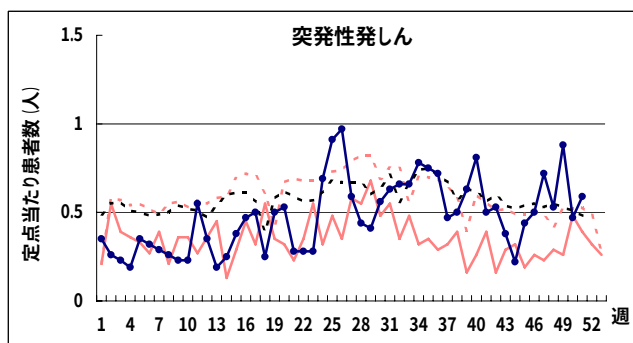
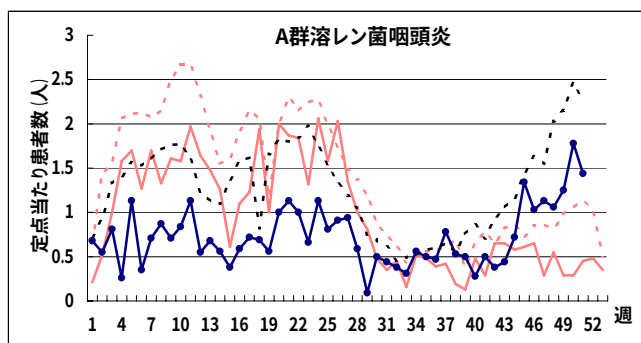
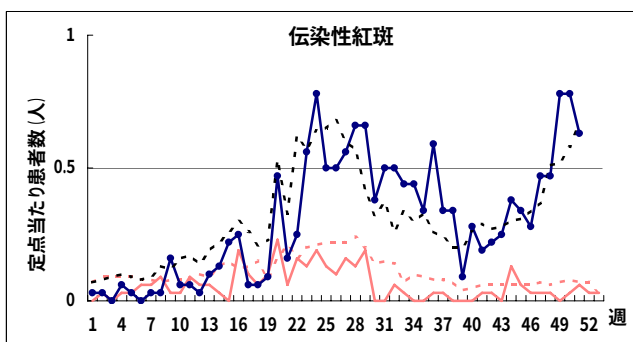
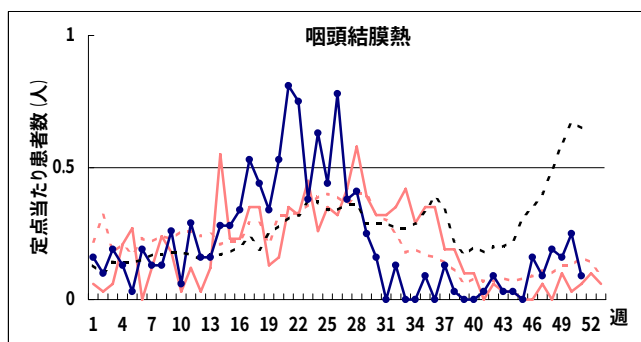
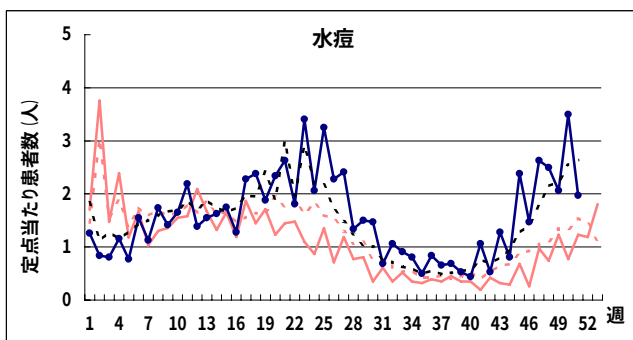
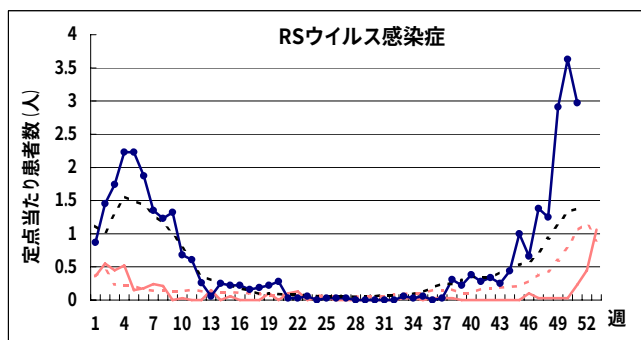
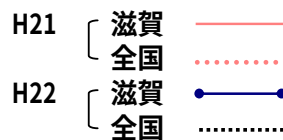
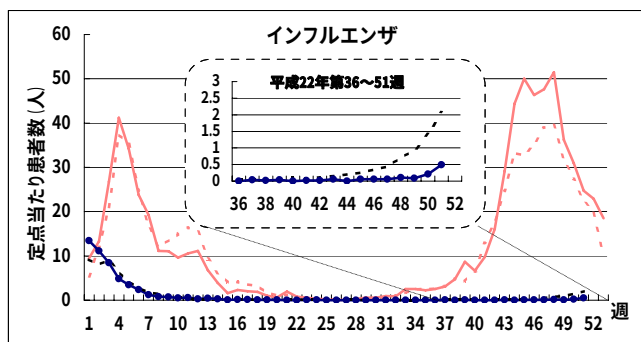
<伝染性紅斑>

甲賀保健所管内では、先週に引き続き警報発生基準値を超えています。

感染性胃腸炎の発生状況



疾病別定点当たり患者数 (平成22年第 1～51 週、H22.1.4～H22.12.26)



[トップページに戻る](#)

疾病別定点当たり患者数 (平成22年第 1～51 週、H22.1.4～H22.12.26)

